

## 永年会員表彰

副会長 木川 幸一

全国大会におきまして、25年間の長期会員在籍者に対し、その永年の医療社会事業への貢献について表彰を実施しました。受賞の54名の皆様は、下記の通りです。受賞者の皆様の永年の労に対し改めて敬意を表し、感謝申し上げます。

都道府県	氏名	所属機関名
北海道	綾部 潤和	ケアセンターら・せれな
北海道	岩間 光紀	札幌秀友会病院
北海道	宇美 一洋	北海道社会事業協会函館病院
北海道	岡 大輔	養護老人ホーム士別桜丘荘
北海道	北村 律子	－
北海道	白井 洋佳	名寄事業団指定居宅介護支援事業所 うらら
北海道	関 雅美	道東脳神経外科病院
北海道	保科 健	国立病院機構北海道医療センター
北海道	山崎雄一郎	札幌ライラック病院
茨城県	遠藤 亜紀	茨城県立医療大学附属病院
茨城県	庄司 和功	筑波メディカルセンター
茨城県	廣瀬 久子	－
茨城県	福田 潤	八郷整形外科内科病院
栃木県	橋本富美子	獨協医科大学病院
群馬県	伊藤 裕二	関口病院
群馬県	高橋 陽子	伊勢崎佐波医師会病院
千葉県	伊藤ゆり子	玄々堂君津病院
埼玉県	大塚 智秋	自治医科大学附属さいたま医療センター
埼玉県	佃 志津子	埼玉県立大学
千葉県	小滝みや子	千葉県千葉リハビリテーションセンター
千葉県	加賀谷栄岳	(有)ヘルスケアサービスゆいま〜る松戸
千葉県	川口 千恵	労働者健康安全機構千葉労災病院
千葉県	野村 正剛	千葉県海匠健康福祉センター
千葉県	渡邊 裕子	日本医科大学千葉北総病院
東京都	遠藤由起子	城山病院
東京都	太田由紀子	博慈会記念総合病院
東京都	折田 洋子	東京臨海病院

都道府県	氏名	所属機関名
東京都	海津 正太	滝野川病院
東京都	金井 美香	望星田無クリニック
東京都	新村 郁子	榊原記念病院
東京都	田中里恵子	明理会中央総合病院
東京都	土村 啓子	－
東京都	富川由美子	東京女子医科大学病院
神奈川県	大倉よしの	横浜市こころの健康相談センター
神奈川県	小糸 亜紀	藤沢市民病院
神奈川県	左右田 哲	北里大学病院
神奈川県	成田すみれ	横浜市青葉台地域ケアプラザ
神奈川県	林 友恵	大口東総合病院
新潟県	真壁 泰子	介護老人保健施設 ケアポートすなやま
新潟県	山崎 知洋	新潟県済生会三条病院
石川県	窪田 和世	公立松任石川中央病院
石川県	吉原 和代	城北病院
長野県	東田 千浪	瀬口脳神経外科病院
長野県	藤井 健	長野県厚生農業協同組合連合会
静岡県	笹ヶ瀬容子	聖隷三方原病院
愛知県	林本 隆幸	名古屋掖済会病院
京都府	巖 弥生子	瀬尾クリニック
大阪府	富士川浩子	大阪府済生会中津病院
大阪府	八木 和栄	大阪府済生会吹田病院
兵庫県	阪田憲二郎	神戸学院大学
兵庫県	谷 義幸	公立神崎総合病院
奈良県	西村 裕美	－
島根県	杉崎 千洋	島根大学
広島県	河宮百合恵	広島市立広島市民病院

## 永年会員表彰の受賞に寄せて

綾部 潤和

永年表彰をうけられた諸先輩方のお名前をみながらいつも「永きにわたりすごいなあ。すばらしいなあ」と感じておりましたが、気づけば自分も。年数ばかりでまだまだですが、「もっとがんばれ」のエールとして受け止めたいと思っております。ありがとうございます。

## ソーシャルワーカー人生を振り返って

社会医療法人明生会道東脳神経外科病院 関 雅美

大学卒業前の2月からの勤務となり、春から産休に入る先輩から、たぶん急ピッチで色々なことを教えて頂いた。それでも不安な私に「悩んだら、患者さんのために！と考えてごらんなさい、そうすれば大きく間違えることはないから」と教えてくださった。これが私の根っこだ。この言葉にどれだけ支えられ導いてもらったか「患者さんのため…」と眩きながら、おっかない婦長さんや厳しい先生、苦手な家族、とつつきにくい本人との何万回もの面接を乗り越えてきたんだと思う。そして、もう一つの支えは、協会活動である。勉強会、講習会、飲み会でつながった皆さんにたくさん相談した。皆さん親切に、資料と共に励ましの言葉を添えて送ってくれた。今でもその手紙は大切に持っており、何度も開いては心を強くした。そういえば「君はいったい何人の報告書を書いているの？」「今日は1人分です」と報告書のひとつも満足に書けない私を扱きに扱いてくれた厳しさ9割の先輩が夫である。たぶん1割のやさしさにやられたのかなあ。余談はさておき、北海道協会が医療社会事業協会からソーシャルワーカー協会に変わるときの総会は今も心に残る。職能団体である協会名が変わることで自分の職が無くなる？変わる？自分はいったい何者かを、びっくりして考えた。協会の一員であることを意識し、MSWとしての自覚やアイデンティティは？色々な事が押し寄せてきた。協会活動によって、MSWとしての成長と共に、社会人になれたのだと思う。今では、国家資格である社会福祉士をベースに医療ソーシャルワーカーとして社会的認知を得、専門職として一層大きくなろうとしている。日本中のMSWの活動が実を結んでいるのだ。永年表彰で一息ついているわけにもいかない、もうひと頑張りしたいと思う。私が歩んだ経験を若い方へ、時におっかなく、厳しく、偉そうに言いたいことを言って、優しく包んであげたい。私は北海道の端っこにいるのでどうぞお電話ください。最後に諸先輩の皆様、こんな私が挫けることなく永年表彰を頂くことが出来たのは皆様の支えがあったからです。心より感謝いたします。ありがとうございます。

香川労災病院 多田羅 喜代美

年数に追い付かずまだまだ未熟な身ではありますが、医療機能の変革の中で、職務に向き合うにあたり求められるもの・変わらないものなど不安を持っていた時に、倫理要綱は重要な指針となりました。研修会や全国大会などでは、多くの会員と交流することで、広い視野をもつことや専門的な知識の向上また組織の運営など、様々な刺激や示唆を受けることができましたことに感謝申し上げます。

学ぶべきことは深く行うべきことは多いのですが、先輩諸氏の活躍の後を追いつつ、日々成長を目指して努力してゆきたいと思っております。

埼玉県立大学 佃 志津子

この度のご連絡に、時の重みを感じております。医療ソーシャルワーカーとして働き始め、日本協会に入会した頃、諸先輩が資格化問題で議論を交わしている姿をみて、「私たちは何を軸とし、何をすべき職種なのか」を考えたことが思い出されます。それは、実戦経験を重ねても、折にふれて自分に問いかけ、自らの姿勢を振り返る、価値ある問いとなりました。この職業に誠実でありたい思いとともに、人と縁に恵まれ、学び、深めながら、25年の時を歩んでくることができました。

同じ職業の方々と繋ぎ、全体の水準を上げ、より社会に貢献できることを推進していく職能団体が有効に機能していることは、とても素晴らしいことと存じます。初任者の頃より、様々な学びの機会を与えて頂いた日本医療社会福祉協会に心からお礼を申し上げますとともに、これまで協会の運営に携わってこられた方々に感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## 「永年表彰を頂くことに」

成田 すみれ

30年前にリハビリテーション機関に縁あって、ソーシャルワーカーとして奉職、今でいう回復期以降の療養者等障害のある人々の地域生活支援を担うリハビリテーション実践に携わり、医療分野のソーシャルワーカーとして多くの学びを得、育てて頂きました。

併せて、この期は我が国の社会福祉制度の大きな変革期とも重なり、社会福祉関係諸法の改正、措置から契約概念の導入、そして介護保険制度の発足など、要援護者の暮らしや生活もその様相が変わりゆく過渡期でした。

リハの実践現場ではまず、「医療措置」が必要時適切に提供されているのか、受診受療後の生活が全人的且つ包括的に支援されているのか等々ワーカーとして日々の実践は課題も多く、地域の医療ソーシャルワーカーとの連携や協働などに助けられました。

現在は、MSWとしての仲間も各段増えており、今後の私の役割として、微力ですが「後輩育成」への協力支援に貢献したいと思う昨今です。ありがとうございます。

瀬口脳神経外科病院 東田 千浪

この度は永年会員の表彰に授かり、誠にありがとうございます。振り返ってみると25年間、こうして仕事が続けられたのも家族の協力…犠牲…?!があったからこそその今日だと思っています。

研修や出張で家を数日から長くは2週間空けた事、戦艦日に行けなかった事、休日出勤や帰宅時間も遅かった事…。今思うと、母親として胸が痛い思いです。

子供が小学校3年の時、「お母さんは仕事も家の事も一生懸命やってるけど、よそのお母さんは居てほしい時に居てくれるんだよ!」と言われ、落ち込んだ時がありました。しかし、昨年サルコイドーシスで咯血し救急入院1ヶ月、その後10ヶ月間の自宅療養をした際、「お母さんは人生を棒にふっても惜しくない仕事に巡り合ってきたんだね」と。

ソーシャルワーカーは人と人、心と心を通じ合わす事が培われての人の歴史、私の人生の何ページにも及ぶ歴史になると思います。

済生会吹田病院 八木 和栄

永年会員表彰のご案内をいただき自分が対象になる年齢になったのかと、びっくりしました。この25年はまわりの方々に恵まれ、ソーシャルワーカーとして働いてこれたことに本当に感謝しています。

後輩の皆様には、続けていくことで力になるものがあるということ、これからも伝えていけたらと思っています。